

第9期介護保険事業計画実施状況モニタリング 令和6年度上半期（4～9月）

モニタリング実施日：令和6年12月20日

1. 認定者数

(人)

		計画値	実績値	差異
高齢者数		47,439	47,410	-0.1%
年齢階級	前期高齢者	21,123	21,116	0.0%
	後期高齢者	26,316	26,294	-0.1%
要介護認定者数		9,591	9,581	-0.1%
年齢階級	前期高齢者	882	864	-2.0%
	後期高齢者	8,709	8,717	0.1%
要介護認定率		20.2%	20.2%	0.0%
年齢階級	前期高齢者	4.2%	4.1%	-0.1%
	後期高齢者	33.1%	33.2%	0.1%

2. 受給者数

(人)

サービス名		計画値	実績値	差異
居宅サービス	訪問介護	5,550	5,465	-1.5%
	訪問入浴介護	858	892	4.0%
	訪問看護	882	871	-1.2%
	訪問リハビリテーション	930	810	-12.9%
	居宅療養管理指導	1,062	1,308	23.2%
	通所介護	6,990	6,990	0.0%
	通所リハビリテーション	2,580	2,575	-0.2%
	短期入所生活介護	6,354	6,566	3.3%
	短期入所療養介護（老健）	126	123	-2.4%
	福祉用具貸与	15,696	16,028	2.1%
	特定施設入居者生活介護	1,704	1,602	-6.0%
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	528	321	-39.2%
	認知症対応型通所介護	204	198	-2.9%
	小規模多機能型居宅介護	1,254	1,182	-5.7%
	認知症対応型共同生活介護	3,432	3,344	-2.6%
	地域密着型特定施設入居者生活介護	390	399	2.3%
	地域密着型介護老人福祉施設	432	511	18.3%
	看護小規模多機能型居宅介護	306	322	5.2%
	地域密着型通所介護	2,892	2,479	-14.3%
施設サービス	介護老人福祉施設	7,542	7,557	0.2%
	介護老人保健施設	3,762	3,811	1.3%
介護予防支援・居宅介護支援		26,700	26,238	-1.7%

3. 給付費

(円)

サービス名		計画値	実績値	差異
居宅サービス	訪問介護	579,477,500	524,787,279	-9.4%
	訪問入浴介護	57,546,500	53,034,386	-7.8%
	訪問看護	35,188,500	31,507,680	-10.5%
	訪問リハビリテーション	27,386,500	22,666,366	-17.2%
	居宅療養管理指導	7,099,000	7,454,777	5.0%
	通所介護	495,836,500	474,956,298	-4.2%
	通所リハビリテーション	121,019,000	117,220,433	-3.1%
	短期入所生活介護	1,105,036,500	1,119,896,547	1.3%
	短期入所療養介護（老健）	12,913,000	10,259,870	-20.5%
	福祉用具貸与	188,163,000	179,505,075	-4.6%
	特定施設入居者生活介護	289,967,500	279,937,525	-3.5%
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	80,395,000	48,168,013	-40.1%
	認知症対応型通所介護	25,107,500	22,223,554	-11.5%
	小規模多機能型居宅介護	222,000,500	197,305,083	-11.1%
	認知症対応型共同生活介護	913,696,500	873,748,009	-4.4%
	地域密着型特定施設入居者生活介護	78,908,000	79,368,245	0.6%
	地域密着型介護老人福祉施設	126,594,000	152,999,692	20.9%
	看護小規模多機能型居宅介護	86,375,500	90,095,177	4.3%
	地域密着型通所介護	174,821,500	159,000,793	-9.0%
施設サービス	介護老人福祉施設	2,049,864,000	2,051,073,685	0.1%
	介護老人保健施設	1,110,778,500	1,071,550,301	-3.5%
介護予防支援・居宅介護支援		377,404,500	357,106,940	-5.4%

4. 差異が生じている主な要因等について

①認定者数

(状況)

- 高齢者数（全体）、認定者数（全体）において実績値が計画値を下回っているが、差異は0.1%未満であり概ね計画どおりの数値となっている。
- 要介護認定者数（前期高齢者）においては計画値に対し差異が-18人（-2.0%）となっている。

(要因)

第9期介護保険事業計画1年目であり、計画値と実績値に大きな差異はみられない。要介護認定者数（前期高齢者）の差異-18人（-2.0%）については、事業対象者への移行、介護予防事業の効果により少なくなったと考えられる。

②受給者数・給付費

(状況)

- 居宅サービス…ほとんどのサービスが計画値を下回っている。
- 地域密着型サービス…ほとんどのサービスが計画値を下回っているが、定期巡回・随時対応型が計画値を大きく下回っている。地域密着型介護老人福祉施設は計画値を上回っている。
- 施設サービス…概ね計画値どおりに推移している。

(要因)

- 居宅サービス…通所系サービスは計画値より下回ってはいるが、新型コロナウイルス感染症の影響は徐々に回復傾向である。その中で、医師、薬剤師等が自宅へ訪問し、療養上の管理や指導が受けられる居宅療養管理指導が、計画値を大きく上回った。
- 地域密着型サービス…定期巡回・随時対応型については、予定していた事業所が整備を断念したことや、遅延していることが要因と考えられる。また、地域密着型介護老人福祉施設については、稼働率が上がったことで計画値を上回った。
- 施設サービス…計画どおりの整備が進んでいる。